

京都府開庁140年を記念した「京都府開庁記念日記念式典」で、NPO法人京都伝統工芸活動支援会「京都匠塾」が、行政、学校、地域団体と連携しながら、京都伝統工芸や地域文化の活性化に貢献したとして「新世紀かがやき交流賞」を受賞。

また、株式会社高屋組が、住宅の耐熱・遮熱性能を向上し、省エネを安価に実現する「ウレタン遮熱工法」の開発、普及に努めたとして「環境トップランナー」を受賞されました。



▲京都匠塾の高橋博樹さん(左)と株高屋組の高屋博文さん(中央)

「新世紀に輝く！トップランナー」南丹市2団体の取り組みを評価

(6/19 開庁140周年「京都府開庁記念日記念式典」)

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



国体京都府予選会や近畿高校選手権など5つの大会を兼ねて行われる「美山サイクルロード」が、市役所美山支所前を発着とする1周10.1kmの周回コースで行われました。

同コースを半周、1周、2周、4周、7周する計15種目があり、午前8時45分から種目ごとに選手たちが力強くスタートしました。

九鬼ヶ坂峠を越えるため高低差が110mあり、選手にとっては厳しい峠の攻略や集団を抜け出すタイミングが勝敗を決めます。同コースは全て公道を使っており、地域住民の協力で1,000人の参加者の快走をサポートしました。

1周を約16分で走り抜くスピードとスリルあふれる競技に、沿道では大勢の方々が声援を送りました。

「1,000人が山里を駆け抜ける」

(5/25 2008美山サイクルロード)



▲一般公道を高速で駆け抜ける自転車は迫力満点

「ツヤツヤの笑顔で清水寺へ」

(5/3 大黒天像の一般公開)



◀修復が完了し笑顔が戻った大黒天像

京都伝統工芸大学校(松村賢治校長)で行われていた清水寺(京都市東山区)の大黒天像(像高113.1cm木造)の修復作業が完了。その姿を一目見ようと多くの市民が同校を訪れました。

長年、さい銭を浴び続けたために、表面の漆がはがれ、木地が露出していた大黒天像は同校の講師や学生らの手で、ツヤのある優しい顔に修復されました。5月6日には清水寺で大黒天像の「修復開眼法要」が営まれ、元の場所に安置されました。